

村の出来事

11月・12月

安全運転をお願いします！

セーフティコール 旗の波運動



冬の交通安全運動統一行動日の11月11日、道の駅「自然体感しむかっぶ」前で旗の波運動が行われました。10月2日に死亡事故が発生して以降の啓発運動となったこの日は、富良野警察署占冠駐在所、交通安全対策議員連盟、交通指導員、長生会会員、役場職員などが安全運転を呼びかけました。

村内の出来事、話題 をお届けします

📷のマークがついている記事は、占冠村HPの「動くしむかっぶ」で見ることができます。

みんな楽しく クリスマス会を開催



12月16日に、ふれあいクリスマス昼食会がコミュニティプラザで行われました。社会福祉協議会では65歳以上の独居の方などに、楽しく食事をしてもらうと、ふれあい昼食会を年4回開催しています。カラオケ体操や顔ヨガ、体操などゲームを楽しみ、昼食にはクリスマス会としてオードブルやケーキを味わいました。



12月8日に、地域クリスマス会が占冠保健福祉センター「ノンノ」で行われました。とまろる利用者や占冠中央小学校児童が集まり、グループごとのゲームやクリスマスソングのハンドベル演奏、合唱、児童のダンス披露などでクリスマスを楽しみました。

保育所でメリークリスマス！



12月22日に、富良野地方法人会占冠支部主催・商工会青年部主管のクリスマス会が占冠・トمام両へき地保育所で行われました。クリスマスを楽しんでもらおうと、用意したプレゼントを、サンタなどに扮した商工会青年部の皆さんが園児一人ひとりに手渡しました。園児はサンタからプレゼントを喜んで受け取り、サンタとの楽しい時間を過ごしました。

ふれあいもちつき会



12月1日にコミュニティプラザ、2日にトمامコミュニティセンターでふれあいもちつき会が行われました。

ゆうあいサークルの皆さんのご協力をいただき、保育園児は、もちつきを体験したり、一緒に餅を丸めたりしました。

お年寄りの方は、孫を見るように丸め方を教えたり、もちつきをする姿を楽しく見ていました。

つきたてのお餅は、雑煮にして、おいしく味わいました。

国際感覚を身につける 「中国のことを知ろう」



12月14日に、占冠中央小学校で、中国人留学生を招いた授業が行われました。

この授業は、国際感覚を身につける教育プログラムとして、占冠中央小学校6年生のほか、トمام小学校5・6年生も対象に行われました。

北海道大学大学院生5名の留学生から、中国のことを紹介してもらいました。

中国と日本の都市の違いをクイズにして地図で確認したり、中国の正月や中国製品を取り上げ、普段使っている服や日常用品など身近なものが中国とつながっていることなどを学びました。

最後に、留学生の一人劉さんから「多様性や違いはあるけど、お互いを理解し合い仲良くしましょう」と話されました。

永年にわたる消防防災活動の功績に 危険業務従業者叙勲「瑞宝単光章」受章



12月19日に、第27回危険業務従事者叙勲伝達式が行われ、藤田重之さん（字中央）が「瑞宝単光章」を授与されました。

藤田さんは、消防職員として昭和50年4月から平成25年3月まで38年間にわたり勤続し、富良野広域連合富良野消防署占冠支署の出動隊として第一線で活躍されました。

平成17年4月に消防司令に昇任し、元富良野地区消防組合富良野消防署占冠支署副長、翌年には支署長として、消防施設整備に尽力をし消防体制の充実強化に努めました。火災、その他の災害発生に際しては、その豊富な経験をもとに、冷静な判断と指揮能力をもって対処し、地域住民の生命と財産擁護のため尽力されました。

これらの功績が認められ、叙勲を受章されました。